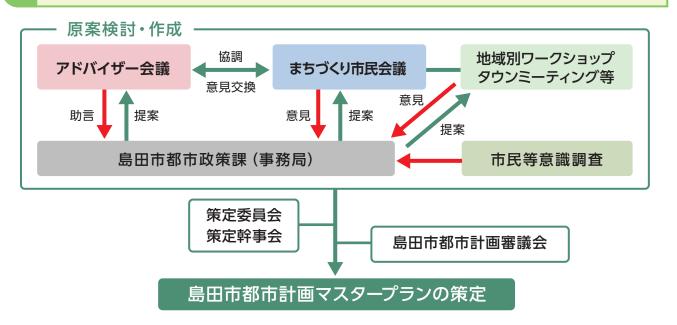
参考資料



策定にあたって

本計画の策定にあたっては、まちづくり市民会議、地域別ワークショップ・タウンミーティング及び市民 等意識調査などを通じて市民の意見を十分に反映しつつ進めました。

1 策定体制と方法



アドバイザー会議

- ・学識者経験者で構成し、会議を3回、ヒアリング調査を2回実施しました。
- ・都市の現況・特性の調査分析結果を基に、将来都市構造やまち づくりの方針について御意見をいただきました。

まちづくり市民会議

- ・公募市民、各種団体、自治会、大学生、市職員などで構成し、会議を10回開催しました。
- ・多様な立場からの視点により、島田市の良い点や問題点を抽出 し、まちづくりの方針について検討いただきました。

地域別ワークショップ (WS) ・タウンミーティング (TM)

- ■地域別ワークショップ (WS)
- ·開催地域:中心地域、六合地域、初倉地域、金谷地域
- ・都市計画区域内の4地域を対象に、各地域で4回開催しました。
- ・地域の良い点や問題点を抽出し、地域のまちづくりの方針や将来 像について御意見をいただきました。
- ■地域別タウンミーティング (TM)
- ·開催地域:大津地域、伊久身地域、大長地域、川根地域
- ・都市計画区域外の4地域を対象に、1回ずつ開催しました。
- ・地域別構想案について意見交換を実施しながら、地域の将来像に ついて御意見をいただきました。



----:都市計画区域

2 策定の経過

	アドバイザー 会議	まちづくり 市民会議	地域別 WS・TM		定中事会	その他
2018年 7月 •	第1回	第1回		- 第1回	第1回	
8月 •		第2回				アンケート
9月 •		第3回				
10月 •	ヒアリング	第4回		第2回	第2回	
11月 •	第2回	第5回		第3回	第3回	
12月 •		第6回				
2019年 1月 •		第7回		- 第4回	第4回	各課ヒアリング
2月 •	ヒアリング		第1回 WS			
3月 •		第8回		- 第5回	第5回	
4月 •				- 第6回		
5月 •		第9回	第2回 WS		- 第6回	
6月 •			第3回 WS			
7月 •						各課ヒアリング
8月 •			第4回 WS 第1回 TM	第7回	第7回	
9月 •				- 第8回		
10月 •	第3回	第10回		- 第9回	第8回	
11月 •						
12月 •						パブリック コメント
2020年 1月 •				第10回	第11回	

アドバイザー会議

第1回 アドバイザー会議・まちづくり市民会議

(主な議題)

- ・都市計画マスタープランの策定について
- ・島田市のまちづくりへの思い・交流

(主な内容

・アドバイザー会議をまちづくり市民会議と合同で開催し、それぞれの委員の立場で、計画策定に向けた「まちづくり」への思い発表しました。



第1回 ヒアリング

(ヒアリング項目)

・都市づくりの視点、都市づくりの課題、都市の将来像、将来都市構造について

(主な意見)

- ・持続可能な都市づくりを進めるためには、中心部を活性化させることが重要である。空き家等を活用し多様 な働き方や暮らし方が実践できれば、交通の利便性が高い特性を活かすことができる。
- ・将来都市像を見据え、多様な視点での調査分析が必要である。
- ・防災・減災の項目を柱とした方針を作成する必要がある。

第2回 アドバイザー会議

(主な議題)

- ・都市づくりの視点
- ・調査分析結果の報告
- ・市民意識調査結果
- ・課題と方向性

(主な意見)

- ・島田市の特徴である大井川を活かした都市構造にすると良い。
- ・基本理念について、現況・課題を整理しつつ導き出した方が良い。

第2回 ヒアリング

(ヒアリング項目)

・都市づくりの課題と方向性、都市の将来像、テーマ別について

(主な意見)

- ・方向性の導き方が課題整理の一部となっているため、課題整理結果から導く方が良い。
- ・都市フレームについてグラフと数字を併せて表記した方が良い。
- ・都市計画マスタープランは方向性を記載し、具体的な部分については他の計画に記載した方が良い。

第3回 アドバイザー会議

(主な議題)

・原案及び概要版の確認

(主な意見)

225 | shimada city planning master plan

- ・コンパクトな都市づくりを目指すためには、市民に丁寧な説明をする必要がある。
- ・市民にとってわかりやすい概要版となるよう工夫が必要。

まちづくり市民会議

STEP 1

島田市の将来像について

(議題) 「将来都市像」を考える

・20年後の島田市がどのようなまちになれば、住みやすいまちになるの か将来像を描きながら意見交換しました。

(主な意見)

- ・多様な働き方が進み、時間を有効活用できるサテライトオフィスやシェ アオフィスが整備されたまち
- ・AIやIoTが進み、誰もがどこでも、医療や福祉サービスが受けられるまち
- ・地域コミュニティが、テーマごとにオンラインでつながれるまち
- ・AIやドローンなどを活用し、誰もが行きたい場所に行けるまち

(議題)具体像の検討

・将来像の具体像についてグループで話し合いました。

(主な意見)

- ・医療・福祉サービスが安心して受けられるまち
- 子育てがしやすいまち
- ・歴史や自然の魅力を活用して観光客を集めるまち
- ・人のつながりが人を育てるまち
- ・まちの中に子どもの声が響くまち



将来像の見える化について

(議題)イラストマップ・イメージイラストの検討

・将来像を市民に分かりやすく説明するためのイラストマップとイメージ イラストについて、検討しました。

(主な意見)

・道路や広場におけるにぎわい空間の創出や、蓬莱橋や川越街道などの歴 史資源の活用などをイラストにより分かりやすく表現できると良い。



STEP 3

将来像の実現化について

(議題)将来像を実現するための具体例の検討

・将来像の実現に向けた5つのテーマ別方針について、具体策をグループ で話し合いました。

(主な意見)

【都市の暮らしやすさ】

- ・駅周辺に住宅や商業、子育で施設などを集積させる
- ・中山間地にコミュニティセンターのような機能を有した施設を整備する

【都市の安全安心】

- ・被災時に安全に避難するための道路の整備
- ・地域住民による助け合いが行われるコミュニティの形成

【都市の活力】

- ・本通りなどの道路や広場におけるイベントの開催
- ・シャッター街をサテライトオフィスなどに転換する

【都市の魅力】

- ・島田市にしかない蓬莱橋や川越街道などの観光資源や、茶畑などのラン ドスケープの活用
- ・地域に眠っている小さな魅力の P R が必要

【都市の環境】

・島田市の特徴である大井川の自然環境の活用









地域別ワークショップ・タウンミーティング

中心地域のワークショップ結果

第1回 地域のいいところ・改善すべきところ

■地域の良いところ

(主な意見)

- ・本通りやおび通りでイベントを実施できる
- ・蓬莱橋や川越街道、大井神社、SL等の観光資源が豊富にある
- ・中・大規模の商業施設が立地している
- ・医療機関が充実している
- 大きな公園やスポーツ施設がある
- ・博物館や図書館等の公共施設がある
- ・道路整備が進んでおり、交通利便性が高い
- ■地域の改善すべきところ
 - ・本通りやおび通りの人通りが少ない
 - ・商店街の空き店舗が増えている
 - ・観光資源に繋がりがなく、活用しきれていない
 - ・保育園が少ない
 - ・子どもを遊ばせる公園が少ない
 - ・お年寄りが集まれる場所がない
 - ・静岡空港までのアクセスが悪い
 - ・国道1号や新大井川橋、はなみずき通り等で渋滞が発生する
 - ・学校への通学路等、歩道がない道路があって危ない

第2回 課題解決のアイデア

■まちなかに"にぎわい"をつくる

(主な意見)

- 島田駅周辺への都市機能の集約
- ・商業施設の誘致
- ・大井川等の自然資源、蓬莱橋等の観光資源の活用
- ・イベント情報の幅広い発信、PR活動の実施
- ・公園や道路でのイベントの開催
- ■子育てしやすい環境をつくる
 - ・共働きの家庭を支援する施設の整備
 - ・子どもの遊び場、託児所の整備
 - ・子ども食堂の整備
 - ・公園に大きい遊具や駐車場の整備
- ■高齢者にやさしいまちづくり
 - 運動施設の整備
 - ・毎日散歩しても飽きない歩道の整備
 - ・生涯学習ができる場所の整備
- ■安全な交通環境をつくる
 - ・歩行者優先のアーケードの整備
 - サイクリングコースの整備

第3回 整備方針の検討とまちづくりの目標を考えよう

中心地域の「まちづくり図」を基に、役割分担を考えながら整備方針を検討しました。

(主な意見)

まちづくりの方針	個人 (自分)	地域 (コミュニティ)	民間 (企業等)	行政 (島田市)
島田駅を中心とした まとまりのあるまち	・地域の美化活動に取り組む ・おびりあや図書館などの公共 施設を積極的に利用する	・地域の都市機能を集約させて 利便性を向上する	・駅前広場を活用したイベントを実施する ・お茶のまち島田をPRできる観光を ベースにしたまちづくりを進める	・文化会館などの施設を整備する・市役所を多機能化する
多世代が健康で 快適に暮らせるまち	・公園に欲しい遊具などの意見 を積極的に発信する ・車を使わずに徒歩や自転車で 生活する ・地域の活動に参加する	・公園を利用したイベントを 実施する・地域が一体となって子育て を行う雰囲気をつくる	・商業施設を充実させる ・公園の運営や整備に携わる ・子ども食堂の運営に携わる ・自治会の活動に協力する	・公園利用のルールや制度を 見直し、イベントなどが開催 できるようにする
川越街道などの 歴史資源を活用したまち	・ボランティアガイドなどの 活動に参加する	・公園を利用したイベントを実施する・地域が一体となって子育てを行う雰囲気をつくる		
歩いて走って 楽しいみちづくり	・通学や下校中の子どもたち へのあいさつや声掛けを行う ・公共交通機関を利用する	・放課後の子どもたちの 見守り活動を行う	・バスの行き先が分かるように 車体の塗装を変える	・歩行者や自転車優先の道路を整備する ・公共交通を充実させ、交通 難民をつくらないようにする

グループごとに「中心地域のまちづくりの目標」を考え発表し、人気投票(1人3票)を行いました。

グループ	まちづくりの目標(案)	得票数
Α	再開発・リノベーション 市民のよりどころがあるまち	10票
В	子どもからお年寄りまで安全・安心に散歩できるまち	12票
С	緑あふれた便利で住みやすいまち 気が付けばロボットが家にいた!ロボットもともだち	10票
D	「私の住んでいるまち」から「私のまち!」と言えるまち	29票
E	島田市緑地化計画	13票
F	きてたのしい すんでたのしい しまだし	27票
G	集まれ~ 人と笑顔に孤独なし	25票

第4回 自分ができることを考えよう

地域のまちづくりを進めるためにできること・取り組みたいことや決意表明をグループで話し合いました。

『わたしたちができること』の主な意見

- ・お年寄りや子ども、障がい者に優しくする
- ・世代の垣根を超えたコミュニケーションを図る
- ・島田市の魅力や良いところを見つけ発信する
- ふだんの生活を楽しむ

- ・話し合いの場や、地域の活動、イベントに積極的に参加する
- ・自宅の1階を開放し、セミパブリックな活用ができるようにする
- ・島田市に住んで、島田市の店で買い物をする
- ・川越街道を歩いて歴史を学ぶ

わたしたちが考える"中心地域のまちづくり"

自由駅を中心とした、まとまりのあるまち

- ・島田駅、市役所周辺の中心拠点へ、商業施設や医 療・福祉施設、子育て施設を誘導する
- ・中心拠点と地域内の主要施設のネットワーク強化

2 多世代が健康で快適に暮らせるまち

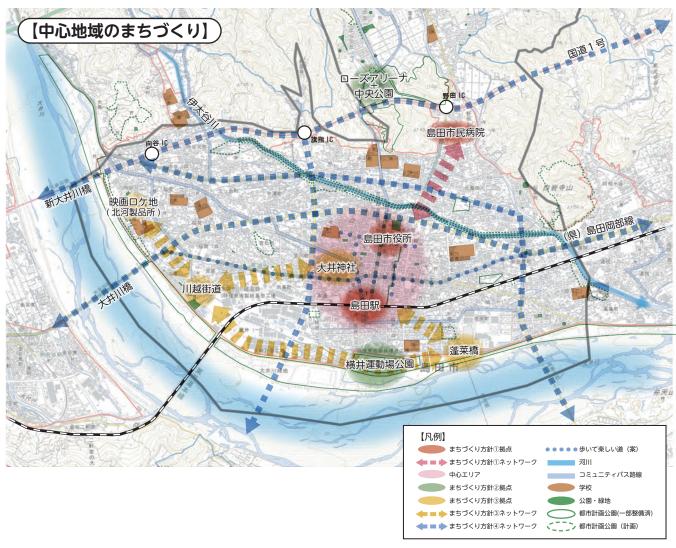
- ・多世代が楽しめる公園づくり
- ・健康増進のための施設や機能の充実
- ・公園や道路でイベントができるルールづくり
- ・子育てがしやすい環境づくりの推進
- ・地域コミュニティの強化
- ・集中豪雨による水害など、自然災害への対応

川越街道などの歴史資源を活用したまち

- ・大井川をはじめとする、自然資源の活用
- ・川越遺跡や蓬莱橋など、観光拠点のにぎわいづくり
- ・歴史文化拠点をつなぐネットワークの形成

4 歩いて走って楽しいみちづくり

- ・通学路をはじめとする、安全な歩行空間の整備
- ・おび通りや本通りを中心とした、歩いて楽しいみちづくり
- ・自転車専用道路の整備、自転車で立ち寄れる店舗の充実な ど自転車で楽しめるまちづくり
- ・バスなどの公共交通の充実
- ・県道や橋で発生する渋滞の緩和









2 六合地域のワークショップ結果

第1回 地域のいいところ・改善すべきところ

■地域の良いところ

(主な意見)

- ・猿舞をはじめとする地区ごとの祭りがある
- ・自治会などのコミュニティ活動が活発に行われている
- ・ホタルの生息地があり、豊かな自然環境がある
- ・六合駅や東光寺ICがあり、交通利便性が高い
- ・東西方向の道路が整備されているため、他地域にアクセスしやすい

■地域の改善すべきところ

- ・商業施設や娯楽施設が不足している
- ・猿舞の担い手が不足しており継続が難しい
- ・児童施設や子どもが遊べる公園が少ない
- ・竹林や茶畑等耕作放棄地が増加している
- ・田畑の担い手が不足している
- ・東光寺ICが下り方面に行けない
- ・公共交通や南北道路の不足や東西交通の混雑など交通利便性が 低い
- ・歩道がない道路がある
- ・街灯が少なく、夜間の通行が危ない

第2回 課題解決のアイデア

■住みやすい環境の整備

(主な意見)

- ・東町御請線沿道における商業施設や病院の整備
- ■子どもが遊べる場所づくり
 - ・遊具の設置
 - ・桜堤防などにおける子どもの遊び場の整備
 - ・屋内子育て支援施設の整備

■観光資源の整備

- ・猿舞、ホタル、茶畑などの活用
- ・白岩寺にある幽霊の掛け軸の活用
- ■防災・防犯面の強化
 - ・蓄電設備のある街灯やカーブミラーの設置
 - ・ポケットパークなどを利用した防災公園の整備
 - ・小中学生を中心とした防災マップの作成

■交通環境の整備

- ・南北交通網の再構築
- ・自転車や歩行者が安全に通れる道路の整備
- ・交通量が多い道路の改善
- ・東光寺IC下り入り口の整備及び周辺道路の整備
- ・コミュニティバスなどの公共交通の充実

第3回 整備方針の検討とまちづくりの目標を考えよう

六合地域の「まちづくり図」を基に、役割分担を考えながら整備方針を検討しました。

(主な意見)

まちづくりの方針	個人 (自分)	地域(コミュニティ)	民間 (企業等)	行政(島田市)
多世代が安心して 暮らせるつながりの 強いまち	・空き家や放棄農地を 提供し、様々な用途に 活用する ・地域の行事に参加する	・猿舞など地域の文化を 継承する取組みを実施 する ・親子で参加できる行事 を増やす	・既存施設に空きスペース がある場合は、提供し有 効に利用する ・地域と企業が合同で防 災訓練を実施する	・ブロック塀撤去の補助制度を充実させる・広報を活用し情報発信を行う・レンタサイクル制度を導入する
快適な交通環境が 充実したまち	バスなどの公共交通を利用する同じ方向に向かう人をグループ化し、相乗りする	・交通の中心になる場所を つくる	・スーパーなどで 配達サービスを実施する ・バスへ協賛を出す	・免許返納者への サービスを実施する
安心して歩ける みちづくり	・自動ブレーキなどのある最先端の車両に乗る ・なるべく自転車を利用 する	・子どもたちの見守り体制 を強化する・時間帯によって車両規制 を設ける	・フレックスタイム制度を 導入し、出勤時間をずらす ・通学バスを提供する	・交通環境を良好にする ・歩道を整備する

グループごとに「六合地域のまちづくりの目標」を考え発表し、人気投票(1人3票)を行いました。

グループ	まちづくりの目標 (案)	得票数
А	安心安全 世界が交差する夢と魅力ある町六合	7票
В	安心、安全、快適で自然豊かなまち	6票
С	互いに顔の見えるまち(防犯・防災)	2票
D	発展より安心・安全 のんびりゆっくりくらすまち	9票

第4回 自分ができることを考えよう

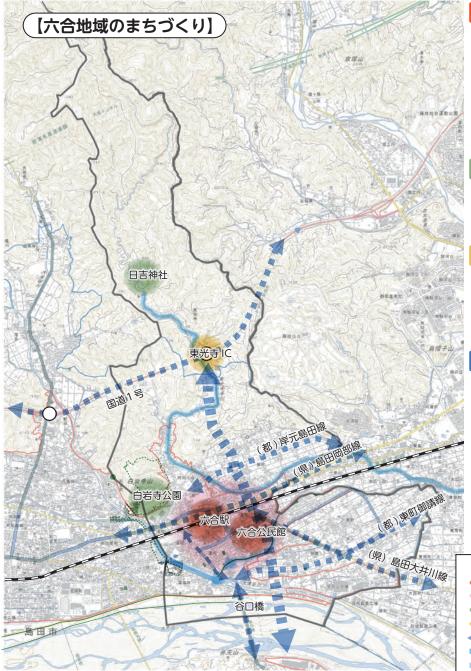
地域のまちづくりを進めるためにできること・取り組みたいことや決意表明をグループで話し合いました。

『わたしたちができること』の主な意見

- ・地域の行事に参加する
- ・生活支援サービスの推進
- ・道路脇の草取りを行う
- ・都市計画等の説明会に積極的に参加する

- ・車を使う生活から、自転車やバスを使うように意識する
- ・災害に強いまちづくりを目指し、自主防災活動を行う
- ・地域の文化など、継承できるものは子どもと一緒に学ぶ
- ・行政に頼り過ぎず、住民ができることは住民の手で実施する

わたしたちが考える"六合地域のまちづくり"



多世代が安心して暮らせる つながりの強いまち

- ・六合公民館周辺を中心に、商業施設 や医療・福祉施設、児童施設などを 充実させる
- ・猿舞等、地域特有のお祭りの継承
- ・防災公園としても活用できる、公園 の整備

2 豊かな自然を大切にするまち

- ・竹林や茶畑、ホタルの生息地の保全
- ・大津谷川の桜堤防、栃山川の桜並木 の充実

快適な交通環境が充実したまち

- ・南北軸の交通網強化
- ・東光寺IC周辺の整備
- ・六合駅を拠点としたコミュニティバ スの充実

4 安心して歩けるみちづくり

- ・通学路をはじめとする、安全な歩行 空間の整備
- ・自転車道の整備









